



50号 令和5年10月3日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



呉市小学生童話大会 最優秀賞・学校賞おめでとう！

10月1日（日）に行われた呉市小学生童話大会で、大塚緋奈乃さん(5年)が見事に最優秀賞（第1位）を受賞し、合わせて最優秀学校賞もいただきました。大塚さん、本当におめでとうございます。大塚さんをずっと見てきて感じたこと・思ったことは……。改めて、「あきらめないこと」「くやしさをエネルギーに変える」ことがどれほど大切なことかということです。

大塚さんが学校代表として本大会に出場するのは今回で3回目となります。それだけでもすごいことです。また、これまでの大会でも優れた賞を受賞し続けてきました。しかし、大塚さんは最優秀賞を受賞したい、1番になりたいという気持ちを強く持ち続け、決してあきらめず、くやしさをエネルギーに変えてこつこつと努力を積み重ねてきた結果、この度の目標の実現となったわけです。

すべての阿賀っ子が、自分にとっての目標を定め、その目標に向かう途中は山あり谷ありであっても、決してあきらめることなく、こつこつと努力を積み重ね、目標の実現につなげてほしいと思います。

10月の生活目標は「友達のがんばりを見つけること」

10月のこの生活目標が、以前、私が皆さんにお話したこととつながっています。そのこととは……。

1つ目は、以前、皆さんに紹介した絵本『ええところ』の中の……。

「わたして、ええところ ひとつも ないなあ。」というあいちゃんに、あいちゃんの「ええところ」は、手のあたたかさだと言いながら、手をにぎってくれたともちゃん。「わたしの『ええところ』を いっしょうけんめい 見つけてくれた ともちゃんが いちばん やさしいんや。」と思って、ほかの友達の「ええところ」を見つけられる自分になろうと決心したあいちゃんのこと。

もう1つは、ネナシカズラのこと。

他の植物を自分の栄養にして生きるネナシカズラにも、実はいいところがあるということ。

「人のよくないところは目に入る」

「人のよいところは見ようとしないと見えない」

人のよいところを見ようとすれば、人からも認めてもらえるようになる。

自分のしたことは、いいことも悪いことも必ず自分に返ってくる。